

採択結果

令和5年3月1日
経済産業省資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課

事業名：令和5年度「住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費」

(採択事業者)

事業者名	法人番号	採択価格	採択指定事業
一般社団法人環境共創イニシアチブ	1010005016502	6,800,000,000円	A-1) 次世代ZEH+ (注文住宅) 実証事業 A-2) 次世代ZEH+ (建売住宅) 実証事業 A-3) TPOモデルを活用した次世代ZEH+実証事業 A-4) 超高層ZEH-M実証事業 B) ZEB実証事業 C) 次世代省エネ建材の実証支援事業

(提案事業者名) ※五十音順

- ①一般社団法人環境共創イニシアチブ (A-1~4、B、Cの6事業に応募)
- ②一般社団法人低炭素投資促進機構 (A-2、A-3の2事業に応募)

(審査委員属性)

研究機関職員
大学教授A
大学教授B

(評価コメント)

コメント (総評)
<p>・ 経験豊富な組織による提案であり、ノウハウを蓄積しているので、執行団体として問題はない。審査段階で審査項目間の重要性を考慮したメリハリをつけるなど、細かい部分での工夫もお願いしたい。</p> <p>・ 数多くの類似の補助事業を手掛けており、提案内容とその業務遂行能力については実績に裏打ちされた信頼があり、優れたものであるといえる。</p> <p>・ 住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業の全事業への提案となっているが、事務経費の面でスケールメリットを十分に感じるものではなかった。</p> <p>・ ZEBの実証支援に関するWebプログラムの未評価技術の効果検証に関する考え方には前向きさを感じる一方で、補助を受けた建物の実績エネルギー消費量に対する利用状況を考慮した妥当性検証方法については簡便な評価方法の開発に期待したい。</p> <p>・ 長年にわたり類似事業を実施しており、事業を計画通りに実施することは確実であると思われる。</p> <p>・ 本事業に関する膨大なデータを蓄積しており、これらを有効に利用することにより迅速に事務処理を進めることが可能である。</p> <p>・ 前年度はZEHに関する事業の一部のみを実施したが、ZEHの普及促進の観点からはすべての事業をまとめて実施する方が業務の効率化および申請者に対する便宜からも好ましい。なお、地域の優秀な工務店が申請しやすいような環境も用意していただきたい。</p>